

天使病院

所属メンバー

- ・飯塚 進 (周産期母子センター相談役、昭和 51 年卒)
- ・外木秀文 (首位産機母子センター副センター長、昭和 57 年卒)
- ・高橋伸浩 (科長、昭和 62 年卒)
- ・奥原宏治 (科長、平成 4 年卒)
- ・徳富智明 (医師、平成 10 年卒)
- ・脇口定衛 (医師、平成 16 年卒、非医会員)
- ・伏屋菜穂 (医師、平成 17 年卒)
- ・米丸 希 (医師、平成 22 年卒、非医会員)
- ・大畑央樹 (医師、平成 23 年卒、非医会員)
- ・越田慎一 (医師、平成 19 年卒)
- ・本庄遼大 (医師、平成 22 年卒)

卒後臨床研修医

4 名

専門外来

- ・アレルギー外来 (×1/週)
- ・フォローアップ外来 (×1/週)
- ・内分泌外来 (×2/週)
- ・血液腫瘍外来 (×1/週)
- ・新生児・未熟児発達外来 (×2/週)
- ・心臓外来 (×2/週)
- ・遺伝外来 (×1/週)
- ・神経外来 (×2/月)
- ・神経発達外来 (×2/月)

天使病院

病院全体の医師数	57人
小児科医師数	11人 (うち非常勤 0人)

病院全体の病床数	254床
小児科病床数(NICU、ベビーを除く)	31床
NICU 病床数	15床
新生児病床数(NICU を除く)	11床

NICU としての認定 あり

平均小児科外来数	68.6人/日
平均時間外外来数	1.04人/日 (小児科医が診察したものです)

年間入院患者数	1,303人/年
年間のべ入院患者数	7,257人/年 (入院患者数×入院日数)
年間時間外入院患者数	128人/年

年間分娩数	1,069人/年
年間低出生体重児(2,500g未満)数	202人/年
極低出生体重児(1,500g未満)数	24人/年
年間呼吸管理患者数	106人/年 (小児22名、NICU84名)

天使病院

論文・著書など

原著論文

1. Miyake N, Koshimizu E, Okamoto N, Mizuno S, Ogata T, Nagai T, Kosho T, Ohashi H, Kato M, Sasaki G, Mabe H, Watanabe Y, Yoshino M, Matsuishi T, Takanashi J, Shotelersuk V, Tekin M, Ochi N, Kubota M, Ito N, Ihara K, Hara T, Tonoki H, Ohta T, Saito K, Matsuo M, Urano M, Enokizono T, Sato A, Tanaka H, Ogawa A, Fujita T, Hiraki Y, Kitanaka S, Matsubara Y, Makita T, Taguri M, Nakashima M, Tsurusaki Y, Saito H, Yoshiura K, Matsumoto N and Niikawa N: MLL2 and KDM6A mutations in patients with Kabuki syndrome. *Am J Med Genet A* 161A(9): 2234-2243, 2013
2. Yamamoto S, Okuhara K, Tonoki H, Iizuka S, Nihei N and Tajima T: A Novel Deletion Mutation of SLC16A2 Encoding Monocarboxylate Transporter (MCT) 8 in a 26-year-old Japanese Patient with Allan-Herndon-Dudley Syndrome. *Clin Pediatr Endocrinol* 22(4): 83-86, 2013
3. Maeda T, Higashimoto K, Jozaki K, Yatsuki H, Nakabayashi K, Makita Y, Tonoki H, Okamoto N, Takada F, Ohashi H, Migita M, Kosaki R, Matsubara K, Ogata T, Matsuo M, Hamasaki Y, Ohtsuka Y, Nishioka K, Joh K, Mukai T, Hata K and Soejima H: Comprehensive and quantitative multilocus methylation analysis reveals the susceptibility of specific imprinted differentially methylated regions to aberrant methylation in Beckwith-Wiedemann syndrome with epimutations. *Genet Med*, 2014(Epub ahead of print)

学会発表

全国学会

1. 米丸 希、小籟菜穂、脇口定衛、奥原宏治、高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進、太田 亨、副島英伸、三宅紀子：松本直通歌舞伎症候群患者 4 人の MLL2 遺伝子異常の同定。第 35 回日本小児遺伝学会、広島県、2013/4/18
2. 奥原宏治、米丸 希、外木秀文、飯塚 進、倉本倫之介、藤田 香、及川敬太：オトガイ下部の腫瘍で見つかった Triple ectopic thyroids の 1 例。第 86 回日本内分泌学会、仙台市、2013/4/26
3. 本庄遼太、大畑央樹、米丸 希、小籟菜穂、脇口定衛、徳富智明、奥原宏治、高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進、大場 豪、山本浩史：腸回転異常を伴わない小腸軸捻転の 1 例。第 65 回北日本小児科学会、仙台市、2013/9/22

4. 徳富智明、米丸 希、大畑央樹、奥原浩治、高橋伸浩、山本浩史、飯塚 進、外木秀文、黒田友紀子、黒澤健司：本邦初の遺伝子解析を実施した Schinzel-Giedion 症候群の日本人例. 第 58 回日本人類遺伝学会、仙台市、2013/11/22

地方学会

1. 打浪有可、鈴木雅彦、大畑央樹、米丸 希、本庄遼太、小籟菜穂、脇口定衛、徳富智明、高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進：学校検尿で尿糖要請となり、9 か月後にケトアシドーシスをきたした 1 型糖尿病の 1 例. 第 287 回日本小児科学会北海道地方会、旭川市、2013/6/23
2. 打浪有可：先天性食道閉鎖症 術後食道閉鎖をきたした一例. 第 17 回札幌北東部小児医療研究会、2013/9/7
3. 本庄遼大：ショック状態で受信した小腸軸捻転の一か月男児例. 第 17 回札幌北東部小児医療研究会、2013/9/7
4. 大畑央樹、本庄遼太、米丸 希、小籟菜穂、徳富智明、外木秀文、飯塚 進、高橋伸浩、日高野乃子、大谷朋子、川俣美帆、岩城 豊、藤枝聡子、計良光昭、渡利道子、吉田 博：胎児エコーにて異常指摘があり、出生後 Schinzel-Giedion 症候群と診断した 1 例. 第 16 回北海道出生前診断研究会、札幌市、2013/12/7
5. 森 潤也、大場豪、奥村一慶、山本浩史、脇口定衛、奥原宏治、外木秀文、大島由季代、縄手 満、高橋 豊：十二指腸腸管重複症の一例. 第 288 回日本小児科学会北海道地方会、札幌市、2013/12/8
6. 徳富智明、外木秀文、奥原宏治、高橋伸浩、飯塚 進、植木将弘、植竹公明、田島敏広、斉藤伸治：刷り込み変異による Prader-Willi 症候群の 1 例. 第 288 回日本小児科学会北海道地方会、札幌市、2013/12/8
7. 大畑央樹、米丸 希、本庄遼太、小籟菜穂、高橋伸浩、徳富智明、外木秀文、飯塚 進、黒田友紀子、黒澤健司：当院で出生した Schinzel-Giedion 症候群の 1 例. 第 288 回日本小児科学会北海道地方会、札幌市、2013/12/8
8. 越田慎一：細菌性髄膜炎の一女兒例. 第 18 回札幌北東部小児医療研究会、札幌市、2014/2/8
9. 小籟菜穂：呼吸器合併症を併発した RSV 感染症の 2 乳児例. 第 18 回札幌北東部小児医療研究会、札幌市、2014/2/8
10. 徳富智明、外木秀文、藤山怜史、小畑慶子、高橋伸浩、飯塚 進、太田 亨：マイクロアレイによるゲノム解析を活用した臨床遺伝. 第 39 回札幌市医師会医学会、札幌市、2014/2/16

11. 脇口定衛、大畑央樹、米丸希、本庄遼太、小籟菜穂、奥原宏治、高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進：最近十年間に下肢痛で当科に入院した症例の検討。札幌市小児科医会、札幌市、2014/2/18
12. 大畑央樹、米丸 希、脇口定衛、徳富智明、奥原宏治、外木秀文、飯塚 進、奥村一慶、大場 豪、山本浩史、中村雄一、中西正憲、永島哲郎：食道アカラシアの一例。第 289 回日本小児科学会北海道地方会、札幌市、2014/2/23
13. 櫻井恭平、奥原宏治、大畑央樹、米丸 希、本庄遼太、越田慎一、小籟菜穂、脇口定衛、徳富智明、高橋伸浩、外木秀文、飯塚 進： 第 289 回日本小児科学会北海道地方会、札幌市、2014/2/23

講演

1. 奥原宏治：学校検尿の対応ーかかりつけ医としてのチェックポイントー尿糖。第 18 回 幌北東部小児医療研究会、札幌市、2014/2/8

その他社会貢献など

なし